

「知」に国境はない。「学ぶ」とは、新たな「知」に出会うこと。

さらに広がり充実する国際交流

「シリコンバレー学生インターンシップ」実施

2007年4月26日から5月3日、「シリコンバレー学生インターンシップ」が東北大学米国代表事務所との連携によりアメリカ合衆国カリフォルニア州において実施された。

この活動は、何事にも積極的に挑戦する力、基礎学力の習得・努力に基づいた創造力、革新をもたらす飛躍力などを基盤に高い人間力、品格を持った学生の育成を目指すことを目的としている。

今回は、全学から応募のあった160名の中から選ばれた18名の学生が参加した。



第1回「スタディ・アブロード短期研修プログラム」

2008年3月、オーストラリア・シドニー大学にて第1回「東北大学スタディ・アブロード短期研修プログラム」を実施した。この研修プログラムは、本学の学部学生が春休み期間を利用して、大学間交流協定校であるオーストラリア・シドニー大学に4週間滞在し、集中英語課程に参加すると共に、専門に関わる講義を聴講するというもの。

参加した20名の学生は、シドニー大学のCentre for English Teachingによる本格的な集中英語研修を受け、同大学で行われている通常の講義をシドニー大学の正規学生と共に聴講した。また、各地へのフィールドトリップなど学外企画研修にも参加し、オーストラリアのさまざまな文化と生活を体感した。



「大学間学術交流協定締結校」新規に11校と締結し、129機関となった (2008.8.1現在)

国・地域名	学術交流協定締結校名	締結年月日	国・地域名	学術交流協定締結校名	締結年月日
中国	蘭州大学	2007. 4.17	ベネズエラ	シモン・ボリバル大学	2008. 1. 8
韓国	延世大学校	2007. 5.29	韓国	中央大学校	2008. 3.27
中国	天津大学	2007. 6. 8	インドネシア	バンドン工科大学	2008. 6. 4
中国	大連理工大学	2007. 6.16	フランス	リヨン政治学院	2008. 6. 6
韓国	釜山大学校	2007. 7.26	中国	揚州大学	2008. 6.20
韓国	公州国立大学校	2007. 7.29			

Topics

「2007 仙台におけるフランス・レンヌ年」に貢献

仙台市とレンヌ市(フランス)の国際姉妹都市締結40周年となった2007年、東北大学大学院国際文化研究科は、レンヌ第2大学との大学間協定の世話部局として交流の発展に尽力するとともに、「2007 仙台におけるフランス・レンヌ年実行委員会」を構成する一組織として参加した。



北京に「東北大学中国代表事務所」設立

東北大学は2007年4月、中華人民共和国・北京市に「東北大学中国代表事務所」を設立した。

本学における研究・教育成果とポテンシャルを中国において展開し、創造的かつ構造化された「知の発信拠点」として各種事業を実施し、普及・促進することを目的としている。今後、本学の世界的プレゼンスを高めるとともに、研究・教育成果の社会的還元を国際的に展開していく。

中国代表事務所は2006年5月に設立した米国代表事務所に近い2番目の海外事務所となり、今後の国際交流拠点づくりの礎としても重要な役割を担っている。



第4回 国際産学連携フォーラム



2007年12月13日・14日の両日において、「片平さくらホール」及び「流体科学研究所・大講義室」を主会場として、東北大学、フランス国立中央理工科学校リヨン校(ECL)、フランス国立応用科学院リヨン校(INSA-Lyon)との共催により、「第4回 国際産学連携フォーラム - ジョイントラボラトリー設置に向けて - 」が開催された。

3機関を中心に約100名が出席し、専門分野同士のバラレルセッションやジョイントラボラトリー設置に向けた実質的な連携構築を図るための情報交換・ディスカッションを行った。また、本フォーラムに先立ち、12月11日には上記3機関によるジョイントラボラトリー設置を目的とした覚書の調印式を執り行った。

国際交流の4者間共同宣言に署名

2007年11月1日、東北大学とカリフォルニア大学リバーサイド校、仙台市、リバーサイド市の4者間による共同宣言署名式が行われた。共同宣言では、東北大学総長、カリフォルニア大学リバーサイド校工学部長(学長代理)、仙台市長、リバーサイド市長が署名者として列席した。

東北大学では今後、この共同宣言に基づいて、仙台市、リバーサイド市とも連携し、カリフォルニア大リバーサイド校との間で教育、学術研究交流及び産学連携の推進を図る。また、それらの成果を社会貢献として還元することを目指し、仙台市とリバーサイド市間の交流発展に、さまざまな形で寄与していく。

